

伝統の美、自然の美、
用の美、素朴の美。



Bernard Leach 生誕130年

バーナード・リーチ と 小鹿田焼展

2017.9.26.Tue — 10.18.Wed

小鹿田焼展は、会期終了後も平成30年3月末まで継続して展示の予定。

2017.9.26.Tue 記念フォーラム ●会場/パトリア日田(大ホール)

●時間/18:00-20:45(開場 17:00~) ●料金/入場無料

●記念講演/土井善晴氏【演題】一汁一菜でよいという提案

●パネルディスカッション/コーディネーター: 杉山享司氏

パネリスト: 土井善晴氏、石井頼子氏、濱田琢司氏、鷺珠江氏【テーマ】あたり前の大切さ

Bernard Leach 生誕130年

バーナード・リーチ と 小鹿田焼展

20世紀英国を代表する工芸家バーナード・リーチが小鹿田焼の里を訪れたのは昭和29年。3週間の間滞在し陶器づくりを行いました。リーチは小鹿田焼とその生活、風景を称賛し、このことは小鹿田焼や日田市の名を全国にとどろかせるきっかけとなりました。10年後に再び小鹿田を訪れて、その技術や風景が変わらないことに加え「伝統の心」が変わっていないことに喜んだといいます。この街が傷ついたらまだからこそ、300年もの間受け継がれてきた小鹿田焼の伝統の心と、それを見出したリーチの作品に触れる機会を設けました。会場は小鹿田焼と共に歴史を歩んできた豆田町です。それぞれの作品の「心」と共に、歴史ある豆田の町並みもあわせてお楽しみください。



2017. 9.26.Tue – 10.18.Wed

小鹿田焼展は、会期終了後も平成30年3月末まで継続して展示の予定。

バーナード・リーチ展

- 会場 / 天領日田資料館
- 時間 / 9:00-17:00 ●料金 / 310円
- 休館日 / 期間中無休



幼児期を日本で過ごした、香港生まれのイギリス人、バーナード・リーチ。帰英後は、ロンドン美術学校などでエッチングを学ぶ。日本への憧れを強くし再来日し、エッチングを指導。柳宗悦とはウィリアム・ブレイクや陶磁器への関心を通して、芸術に関する思想的影響や刺激を与え合う生涯の友として親しく交わった。今回は、日本民藝館が所蔵するリーチの陶磁作品や絵画から、小鹿田焼と関わりの深い作品を中心に約80点をご紹介。作品から垣間見える、小鹿田焼との心の交流を感じて欲しい。

小鹿田焼展

- 会場 / 豆田まちづくり歴史交流館(旧古賀医院跡)
- 時間 / 9:00-17:00 ●料金 / 入場無料
- 休館日 / 期間中無休



小鹿田焼は、1705年に、幕府直轄領であった日田の代官により領内の生活雑器の需要を賄うために興された。民芸運動を提唱した柳宗悦が1931年にこの地を訪れ、「日田の皿山」と題して評価する内容の一文を発表したことや、リーチが滞在して作陶を行ったことにより、日本全国や海外にまで広く知られるようになった。今回の豪雨で大規模な土砂崩れが発生し、小鹿田焼の里までの通行には注意が必要。そのため、小鹿田焼陶芸館に展示している作品や資料を豆田まちづくり歴史交流館で紹介する。

お願い / 災害復旧中につき、小鹿田焼の里(皿山地区)への来訪はご遠慮ください。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

小鹿田焼の里「皿山地区」へ通じる県道宝珠山日田線は、7月5日の豪雨において大規模な土砂崩れが発生しました。現在は仮設道路を設置し通行は可能となっておりますが、崩壊斜面に設置したセンサーが危険と判断した場合や、降雨状況により、安全確保のため全面通行止めになる場合があります。そのため、小鹿田焼の里にある小鹿田焼陶芸館は休館し、豆田まちづくり歴史交流館にその機能を移しています。みなさまにはご不便をおかけしますが、状況をご理解いただき皿山へのご来訪はご遠慮ください。

(皿山でのイベントなどのお問い合わせ先：日田市観光課 0973-22-8210・道路状況に関するお問い合わせ先：大分県日田土木事務所 0973-23-2141)